

## 第 555 回 例 会

25年8月2日

## 本日のプログラム

- ・ソング 「奉仕の理想」
- ・卓話 玉置 栄一 会員  
「私のお仕事 ～パート3」
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 3階「飛鳥の間」
- ・第2回理事会 13:40～ 4階「橘の間」

## 次回(8月9日)のプログラム

- ・ソング 「日も風も星も」 (P10)
- ・卓話 吉田 正信 会員  
ゲストスピーカー 和倉 知世 さん「50からの健康ヨガ」  
\* 全米ヨガアライアンス認定指導者(RYT200)  
\* シニアヨガインストラクター
- ・場所 ANAクラウンプラザホテル大阪 3階「飛鳥の間」

## 8月のお誕生日

9日 中根 三恵子 会員

## 8月の創立記念日

29日 阪和ホーロー(株) 高野 幸雄 会員

## 先週(7月26日)の例会報告

## ■会長の時間

## 【邪念を抱く者に災いあれ】

西欧の故事。

イギリスの最高勲章である「ガーター勲章」に書いてある文句。イギリスの勲章であるにもかかわらず、フランス語である。1344年エドワード三世が創設したといわれているが、その時代のイギリスの上流社会や宮廷ではフランス語が使われていたためである。この勲章は、幅1インチの濃い緑のビロードの「靴下留」(ガーター)の形をしている。つける場所は胸ではなく、左の膝の下であり、文字どおり靴下留である。イギリスの大礼服はいまでも半ズボンなので、この勲章をつけたとき、ちゃんとみえる。ガーター勲章をつけるのは、国内では国王を入れて26人と決まっている。

ガーター勲章の起りについては、いろいろな説がある。そのひとつ。エドワード三世(1312年～1377年)は、母親のイザベラとその寵臣モーティマーに実権を握られていた。が、モーティマーを殺し、母親を宮廷から追い出した。そして、ウインザー宮で再び名実共に王位についた。そのとき、エドワード三世は、騎士たちにそろいの「青い靴下留」をつけさせて、演出をはでにしたと伝えられている。勲章が現在のようになったのは15世紀の中葉からである。

もうひとつの伝説。エドワード三世が、舞踏会で、美しいソールズベリ伯爵夫人と踊っていたとき、こともあろうに、夫人がガーターを落してしまふ。夫人が靴下を人目にさらすのさへ大騒ぎの種になる600年もむかしの出来事である。ガーターを落すなどたいへんにはしたくない行為であった。夫人の恥辱になり、社交界から消えなければならぬ原因をつくりかねなかった。が、エドワード三世は、自分の落し物のように、そっとガーターを拾って、なにげなく自分の脚にはめ、夫人の危機を救ってやる。これをみていた女王は不快な表情で顔をそむけ、人びとは意味あり気に笑ったので、国王は「邪念を抱く者に災いあれ」といった。ガーター勲章に、このことばが金文字り縫いとりで書かれているのは、こうした理由からだという。

別な説では、伯爵夫人の落した靴下留が、特別の品であったので、「魔女」だと誤解されかねなかったので、エドワード三世が「邪念を……」と叫んだともいわれている。あるいは、クレーシーの戦いとき、突撃の合図がわりに、国王が靴下留をふったのを記念したのだともいう。

もう一説には、勲章を脚につけるのは下品だと考えている者への返答のことばが「邪念……」だとする人もいる。

【来客紹介】 0名

【出席報告】

25年7月26日(第554回例会)				
会員総数	出席免除会員	出席会員	欠席会員	出席率
32名	2名	25名	5名	83.33%

【幹事報告】

【メールBOXに配布】 以下、メールにてお知らせしました

- 1)大輪ゴルフ会のご案内
- 2)HP メンバーズルームのパスワード
- 3)10月の理事会変更のお知らせ (10/4 ⇒ 10/11)

【回覧資料】

- 1)他クラブより例会変更(年間)のお知らせ(3クラブ)

## ニコニコ箱(7月26日)

秋山 千尋 =車に乗らずに久し振りに歩いて来ました。汗ダラダラ！

小林 知義 =ロータリーソングが変わりました。みんなでしっかり覚えましょう。

森本 良嗣 =暑いのと孫の守りでバテて来ております。

大輪有加子 =ちょっと嬉しいことがありました。

大屋 準一 =今日は寒いですね ⇒ 5ヶ月後の予想です。

高野 幸雄 =暑いです！！ 笹田さん、卓話ががんばって下さい。

玉置 栄一 =20~21日は桜宮神社、22~23日 都島神社、24~25 天神祭、本当に暑い日々でした。  
やっと静けさが戻りました。

豊島 秀郎 =東アジアカップ、何人か使える選手が出てきてほしい。

### 【SAA報告】

ニコニコ箱

本日計 8000円

今年度合計 3300268円

## 卓話(7月26日)

### 「妻のがん告知からの一年を振り返る」 笹田 隆志 会員

家内が昨年七月にがん告知を受けて一年が経ちます。その間にお見舞いをいただいたり、ご心配をいただいた方々へのご報告と、会員皆さんはお仲間なので、身の上話を聞いていただくつもりで、この一年を振り返ってお話をしたいと思っておりますので、しばらくお付き合いくださいね。

家内はいやなことや気になることがあると、お腹の調子を壊すことがよくあり、その当ても下痢が長引いた程度で、目立った自覚症状はありませんでした。

念のため近所の内科医で大腸の内視鏡検査をうけたところ、腸閉塞の一手前であることがわかり、関西労災病院で下部消化器外科の精密検査を受けた結果、S字結腸原発の大腸がんと診断されました。さらに転移は肝臓、肺と血液、リンパに及ぶ進行がんで、5年生存率は50%との説明を受けました。体調も平常で何の自覚症状もない本人と家族には、とても受け入れることのできない告知でした。しかし状態は深刻で、腸閉塞を避けるため至急の内視鏡手術で腫瘍を摘出、人工肛門にはならず手術は成功しました。手術時間は3時間程度で、予定よりも二時間くらい短くて済みました。

術後の八月九月は抗がん剤治療で肝臓の腫瘍を小さくして、次の摘出手術に向けた体力作りに努めました。

12月に肝臓の腫瘍を一区画ごと摘出、今回も腹腔鏡による手術でしたが、時間は11時間に及びました。手術は成功し切り取った肝臓の大きさは、片手のこぶしくらいでした。時間はかかりましたが輸血をすることもなく、回復も順調です。医者によるとレーザーで丁寧に切除するのに時間を要したが、問題はありませんでしたと。

年が明けて肺の腫瘍はまだ残りますが、腫瘍マーカーCEAも5に近づき、小康状態を維持しながら、次の肺の手術に備えた体力作りにつとめていました。

その間に予想もしていなかった卵巣に転移が見つかり、こちらの手術を優先することになりました。外科で経過を見ていたのですが、同じ病院の産婦人科に診てもらったときは、手のひら程度の大きさに腫れていました。画像では腫瘍というより、水分を吸収したのう胞がいくつもつながり合っている状態です。

5月の手術は開腹手術で、人工肛門のリスクが前回より高い説明を受けていましたが、幸いそうならず済みました。

一年で三回の手術を受けたので、家族で相談した結果肺の腫瘍は手術をせずに抗がん剤を中心に抑える治療を選択しました。この時点では関西労災から神戸低侵襲がん医療センターに主治医を変えて、現在外来治療を継続中です。

がん治療の分野は日進月歩で、新しい情報が日々提供され続けています。その中から自分に合った治療法にたどり着くには、周りの家族の協力と相談出来る人との出会いが大切です。相談できる人とは医者だけとは限りません。周りには意外とがん持ちの方がおられます。治療を経験した方のちょっとした一言は、患者には大きな励みになります。少し調べるだけでも、がん治療に関わるいろいろな立場の人々の情報に接することも可能です。その中から患者一人一人に合った無理のない治療法を選び、試し、継続していけば、毎日の積み重ねが寿命を永らえる作業につながります。

がんはひつこいので、こちらも根気強く取り組まないと負けてしまいそうになります。そのためにも明るく笑って過ごす毎日を心がけ

つつ、相変わらずティッシュペーパー一枚で口論もしながら、にぎやかで元気に一年を迎えました。妻はがんと生きる覚悟をようやく自分に落とし込みつつ、往生際の悪い旦那は頭でっかちの治療話を持ち込んで、たしなめられています。長い身の上話にお付き合いいただきありがとうございます。また、家族例会でお会いしましょう。

**大阪ユニバーサルシティRC** URL: <http://www.osaka-ucrc.org/> E-mai: [ucrc@osaka-ucrc.org](mailto:ucrc@osaka-ucrc.org) 創立: 2001年3月27日  
事務局 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68 リーガロイヤルホテル401号室 TEL: 070-5020-6459  
会長: 斎藤清貴 幹事: 三宅一郎 会報担当: 大橋高志 例会: 毎週 月曜日 12:30~13:30 リーガロイヤルホテル

4つのテスト / 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか